

<オールインワン英文読解⑩> Lv.★★

① It is A that~

It is A that~ という構文は「」の場合と「
の場合があるので判別が必要。

< It is A that~ の判別法 >

- ① A が () → () 構文
- ② A が () → () 構文
- ③ A が () → () 構文
 ※ A が () なら () 構文
- ④ A が () → that 以下で判断!
 完全な文 → () 構文 / 不完全な文 → () 構文

(問) 次の文は 仮主語構文 か 強調構文 か?

(1) It was in 2020 that the company was founded.

→ () 構文 「その会社が設立されたのは2020年だった」

(2) It is true that he won the contest.

→ () 構文 「彼がコンテストで優勝したのは本当だ」

(3) It was because he was tired that he left early.

→ () 構文 「彼が早く帰ったのは、疲れていたからだった」

(4) It is his honesty that I admire most.

→ () 構文 「私が最も感心するのは、彼の誠実さだ」

(5) It is of importance that we act quickly.

→ () 構文 「私たちが迅速に行動することは重要だ」

(6) It is a fact that he lied to us.

→ () 構文 「彼が私たちに嘘をついたのは事実だ」

強調構文には "it is A that~" のほかに

"it is ② who~" "it is ③ which~" の形式がある。

強められる語句が「人」のときは ()、「物」のときは () が使われることも。

② 情報構造とは？

英語には、相手に言いたいこと[情報]ほど、その情報は文末に置かれるという、() [] と呼ばれる原則がある！

→ 情報の重要度が高ければ高いほど、その情報は()に置かれる！

＜文中の情報を構成する要素＞

(): 聞き手が既に知っていること
→ 「前で言っていることから推測できる情報」

(): 聞き手が知らないこと
→ 「聞き手からすると初めて聞いた情報」

英語において、情報は「 」と流れるのが自然！

(問) どちらの文がふさわしいか？

When will they arrive? 「彼らはいつ到着するのか」

(A) Tomorrow they will arrive. (B) They will arrive tomorrow.

どちらの文も、「明日到着する」となるが()の方が、この疑問文としてふさわしい文となる。Whenに対する答え=()が、最も相手に伝えたい情報なので、tomorrowが()に置かれている()の方がふさわしいとなる。

こうやって情報の重要度から英文を読んで、得られる構造を「情報構造」と呼び、筆者の主張をつかむ上で非常に有効！

③ 主語が新情報の場合は？

(問) Who wrote the book? 「誰がその本を書いたのか」

(A) Ken wrote it. (B) It was written by Ken.

(問)の疑問文は、「本を書いた作者」を尋ねる文なので、新情報は()となる。これを文末に持っていくとなると、()にする必要がある。なので答えは()となる。

＜情報構造で見る受動態＞

受動態とは通常は旧情報である()を新情報にするための文！

能動態: S [] V O []

受動態: O [] be + V p.p. by S []